

# 邑南町商工会 経営発達支援計画 【平成29年度 実績】

■自己評価 A：大変効果があった B：まあまあ効果があった C：あまり効果がなかった D：まったく効果がなかった

## 経営発達支援事業

### 1. 地域の経済動向調査 総合評価B

#### ①中小企業景況調査の実施 【目標 40 事業所 ⇒ 実績 40 事業所】

・景況調査先 15 事業所と別途選定先 25 事業所に対し調査 4 回実施、集計 4 回し広報情報提供。

#### ②各種調査、統計等による情報の収集・分析・提供

・島根県の経済動向調査、景況調査の結果を広報・ホームページで情報提供。SWOT 分析や計画の数字を検討する際、全国～邑南町の経済動向を掴む上で参考資料とした。

### 2. 経営状況の分析 【目標 40 事業所 ⇒ 実績 30 事業所】 総合評価B

補助金申請や事業承継・金融支援の際に必要なが生じた事業者を中心に分析を行った。

### 3. 事業計画の策定支援 【目標 30 事業所 ⇒ 実績 30 事業所】 総合評価B

経営分析と同事業所の策定支援を行う。当会が行っている景況調査や市場情報評価ナビにより消費購買力や特性を把握し、業種別審査辞典に掲載されている業界動向や分析結果やデータをもとに、計画書の策定を行った。策定にあたっては、より実効性が高まるよう専門家を活用し支援（9 件）を行った。

### 4. 事業計画の実施支援 【目標 68 事業所 ⇒ 実績 68 事業所（H27 分 8 事業所、H28 分 30 事業所、H29 分 30 事業所）】

総合評価B

経営計画を策定しながらの実施支援となり、巡回時に状況を把握するも計画との乖離や見直しの検討を行うまでには至らなかった。取組内容で町・県・持続化補助金等に該当するものは活用を薦め延べ 20 事業所活用。

### 5. 需要動向調査 総合評価C

・日経MJ・日本産業新聞・家計調査報告・消費動向等から情報収集し巡回訪問時各事業所に関連する情報を提供したが、事業計画に充分活かすことが出来なかった。

### 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業 総合評価A

#### ①販路開拓支援 【目標 13 事業所 ⇒ 実績 19 事業所】

・「邑南町ふるさと寄附」は新たに 2 件登録、関係企業の取扱高は 13,500 千円（対前年比 12.5%UP）。

・フレスタ展示即売会 5 社参加・売上 446 千円、ホテル白鳥邑南町フェア 4 社参加・売上 115 千円。ちよだいちば邑南町フェア 13 社参加・売上 253 千円。オータムマルシェ 5 社参加・売上 637 千円。

・町内の食品製造事業者紹介パンフ作成し 19 事業者参加、東京 PR センターでの営業活用及び展示即売会等にて配布しPRを行う。

#### ②ネット販売支援 【目標 7 事業所 ⇒ 実績 7 事業所】

・新規ホームページ作成 7 件支援。受注の増加や販路の開拓に繋げる。

#### ③近隣集客施設での販路開拓支援

・いこいの村しまねでのカタログギフトを活用した販路開拓支援を行う。商品提供側の配送対応については今年度も協議を行うも解決できなかったが、ギフト取扱いは 22 件（夏 8 件・冬 11 件、期間外 3 件）と前年合計 9 件より増加となる実績をあげた。

#### ④施策の活用による販路開拓支援

・町補助金を活用し創業関係 4 件・販路開拓 1 件を支援、当初計画通りの成果を挙げる。

## 地域経済の活性化に資する取組み 総合評価A

### 1. 邑南町起業支援センターとの連携

合計 10 回の会議を開催し、行政と商工会の情報共有を行った。邑南町中小企業・小規模企業振興条例制定後の施策普及やしごとづくりセンターとの連携に向けた協議を行った。

### 2. 起業家育成と起業支援 【目標 2 事業所 ⇒ 実績 9 事業所】

・起業支援は 9 件、事業計画策定や補助金申請等の支援を行うとともに、開業後の届出書類や税務・労務等、スムーズな事業運営が出来るよう支援を行った。

### 3. 農商工連携の推進 【目標 2 事業所 ⇒ 実績 1 事業所】

・地元産柚子の未利用品を利用し、邑南町と食の連携をしている浜田市の製塩事業者と地元事業者のマッチングにより「柚子胡椒塩」の開発支援を行い、平成 30 年度早々に販売を開始予定。

**4. ギフトカタログへの取り組み 【目標 14 事業所 ⇒ 実績 16 事業所】**

- ・ギフトカタログは3社が新たに参加し年2回発行、山陰合同銀行や取扱店の協力を得ながら実施。
- ・「夏ギフト」14社登録で総売上約2,600千円（前年の約2,100千円）。
- ・「冬ギフト」は15社登録の総売上3,500千円（前年約2,500千円）となった。

**5. 「A級グルメ」の取り組み 【目標 20 事業所 ⇒ 実績 11 事業所】**

- ・A級グルメと神楽のフェスタ 2017 開催  
19 企業団体（内小規模事業者 11 社）参加、来場客数 2,500 名、来場者に対し特産品等PR。

**支援力向上のための取組み**

**1. 支援ノウハウの情報交換、経営指導員等の資質向上 総合評価B**

研修や会議等への参加し、情報交換や資質の向上をそれぞれの職員が行っているが、その内容について書面による情報共有に留まっており、情報共有を深めるまでには至らなかった。

**2. 事業評価及び見直しをするための仕組み 総合評価B**

外部評価委員会を開催し、前年度の実績評価と今年度の取組みについて意見を聞き、今年度の取組みを開始。毎月行う職員全体会議や経営支援会議で事業の進捗状況のチェックを行いながら、取組みを行った。

経営発達支援事業

1. 地域の経済動向調査

- ①需要動向調査の実施
  - ・40事業所（景況調査先15事業所+別途選定先25事業所） 年4回
- ②各種調査、統計等による情報の収集・分析・提供
  - ・広報・巡回等にて随時提供

2. 経営状況の分析 【目標40事業所】

- ①経営状況を巡回等により把握
- ②財務状況の把握と経営分析シート作成による企業の現状分析

3. 事業計画の策定・実施支援

【策定目標30事業所】【実施目標98件（H27-H29策定分68件・H30策定分30件）】

- ①経営分析に基づいた事業計画の策定
- ②事業計画の実施について、四半期毎の実施状況の検証と見直し
- ③より効果が上がるよう専門家を活用

4. 需要動向調査

- ①小規模事業者の販売商品・提供役務の需要動向に関する情報の収集、整理、分析、提供
- ②飲食業の需要動向調査（町内飲食店来店者等を対象にしたアンケート調査）

5. 新たな需要の開拓に寄与する事業

- ①販路開拓支援 【目標13事業所】
  - ・NEC玉川事業場邑南町産品販売会 年1回（6月13日-15日）
  - ・広島フレスタ上天満店展示即売会・商談会 年2回（7月7日・8日、9月8日・9日）
  - ・ちよだいちば邑南町フェア（東京） 年1回（7月30日～8月31日）
  - ・ちよだフードバレーネットワーク・オータムマルシェ展示即売会（東京） 年1回（11月23日-25日）
  - ・商品評価アンケート実施 展示即売会にて実施
  - ・展示会等の販路開拓に繋がる情報提供
- ②ネット販売支援 【目標7事業所】
  - ・ホームページ作成・リニューアル、SHIFT・にほんセレクト.comの活用支援
- ③近隣集客施設での販路開拓支援
  - ・いこいの村しまねの客室にギフトカタログを設置、観光客への認知度向上と購買機会の増大
- ④施策の活用による販路開拓支援
  - ・町補助金や専門家の活用

地域経済の活性化に資する取組み

- 1. 邑南町しごとづくりセンターとの連携
- 2. 起業家育成と起業支援 【目標2事業所】
- 3. 農商工連携の推進 【目標2事業所】
- 4. ギフトカタログへの取り組み 【目標14事業所】
  - ①カタログギフトの発行 年2回（夏・冬）
- 5. 「A級グルメ」の取り組み 【目標20事業所】
  - ①A級グルメと神楽のフェスタ2018開催

支援力向上のための取組み

- 1. 支援ノウハウの情報交換
  - ①邑南町しごとづくりセンターとの連携・情報交換
  - ②県連、他の支援機関、関係機関との情報交換
- 2. 経営指導員等の資質向上
  - ①県連等主催の研修会参加、WEB研修受講
  - ②県や関係機関が主催するセミナー等への参加
  - ③OJT
- 3. 事業評価及び見直しをするための仕組み
  - ①事務局内評価会議の開催による評価・見直し
  - ②監査会への報告と評価・見直し
  - ③外部評価委員会で事業の評価・見直し案の提示を受ける
  - ④理事会への報告と評価・見直し、広報等で周知